

## 水稻奨励品種「東北194号」

古川農業試験場

### 1 取り上げた理由

本県の代表的な良食味品種である「ササニシキ」は、収量・品質が不安定となりやすく作付け面積は減少しているが、あっさりとした食感は寿司用米等として根強い人気がある。

「東北194号」は「ササニシキ」のあっさりした食感を継承した良食味良品質品種で、宮城県では“中生の晩”に属し、耐冷性、品質、高温登熟耐性、耐倒伏性が「ササニシキ」よりも優れていること、寿司店等を中心に特定需要者からの一定量の需要が見込まれることから、奨励品種に採用し普及技術とする。

### 2 普及技術

#### 1) 来歴

「東北194号」は、宮城県古川農業試験場において、中生の耐冷、良質、「ササニシキ」並の良食味で多収な品種の育成を目標として、「ササニシキ」を母、「ひとめぼれ」を父として、平成13年6月に人工交配を行い、その後代から育成した系統である。

#### 2) 特性の概要

- a 出穂期は「ササニシキ」と同程度で、成熟期は1日程度早い。宮城県での早晩性は“中生の晩”である。(表1)。
- b 稈長は「ササニシキ」よりもやや短く、穂長はやや長く、穂数はやや多い。草型は“穂数型”である。耐倒伏性は“やや弱”で「ササニシキ」よりやや強い。(表1)。
- c 障害型耐冷性は“極強”，高温登熟耐性は“中”，穂発芽性は“難”であり、いずれも「ササニシキ」に優る(表1)。
- d いもち病真性抵抗性遺伝子型は+型と推定され、ほ場抵抗性は葉いもちには“やや弱”，穂いもちには“弱”である。(表1)。
- e 収量は「ササニシキ」と同程度かやや少ない。玄米千粒重は同程度である(表1)。
- f 玄米の外観品質は「ササニシキ」にやや優り、高温登熟年における白未熟粒の発生は「ササニシキ」より少ない(表1, 図1)。
- g 食味は炊飯米では「ササニシキ」にやや劣るが、寿司用に調製した酢飯では同程度である。(表1, 表2)。

#### 3) 対象地域等

- a 普及見込み地帯 宮城県北部・南部平坦，仙台湾沿岸及び西部丘陵地帯
- b 普及見込み面積 200ha
- c 作付にあたっては、県が示す『東北194号の生産方針について(案)』に則った栽培とする。

### 3 利活用の留意点

- 1) いもち病抵抗性は葉いもちが“やや弱”，穂いもちが“弱”であるので適正防除を実施する。
- 2) 白葉枯病抵抗性が“やや弱”なので常発地での栽培は避ける。

(問い合わせ先：古川農業試験場水田利用部 電話0229-26-5106)

#### 4 背景となった主要な試験研究

##### 1) 研究課題名及び研究期間

水稻奨励品種決定調査 平成19～22年度

##### 2) 参考データ

表1 特性一覧表

| 系 統 名                 | 東北194号  | 交配組合せ |            | ササニシキ／ひとめぼれ                     |       |       |      |
|-----------------------|---|-------|------------|---------------------------------|-------|-------|------|
| 特 性                   | 長所 1. 炊飯特性・食味がササニシキに近い。<br>2. 耐冷性が強い。<br>3. 穂発芽し難い。 |       |            | 短所 1. いもち病に弱い。<br>2. 耐倒伏性がやや弱い。 |       |       |      |
| 調 査 地                 | 宮城県古川農業試験場  |       |            |                                 |       |       |      |
| 調 査 年 次               | 標肥 平成19～22年   |       |            | 多肥 平成20～22年                     |       |       |      |
| 系統名・品種名               | 東北194号  | ササニシキ | ひとめぼれ      | 東北194号                          | ササニシキ | ひとめぼれ |      |
| 早 晩 性                 | 中生の晩  | 中生の晩  | 中生の晩       | 中生の晩                            | 中生の晩  | 中生の晩  |      |
| 草 型                   | 穂数型   | 穂数型   | 偏穂数型       | 穂数型                             | 穂数型   | 偏穂数型  |      |
| 出穂期(月日)               | 8.07  | 8.07  | 8.08       | 8.07                            | 8.06  | 8.08  |      |
| 成熟期(月日)               | 9.23  | 9.25  | 9.21       | 9.26                            | 9.27  | 9.23  |      |
| 稈長(cm)                | 78.3  | 82.0  | 81.8       | 87.0                            | 90.0  | 87.4  |      |
| 穂長(cm)                | 17.7  | 17.4  | 17.7       | 18.0                            | 17.5  | 18.1  |      |
| 穂数(本/m <sup>2</sup> ) | 496   | 470   | 485        | 580                             | 551   | 530   |      |
| 芒の多少・長短※              | 少・短   | 少・短   | やや少・短      | —                               | —     | —     |      |
| ふ 先 色 ※               | 白   | 白     | 白          | —                               | —     | —     |      |
| 脱 粒 性 ※               | 難   | 難     | 難          | —                               | —     | —     |      |
| 穂 発 芽 性 ※             | 難   | やや易   | 難          | —                               | —     | —     |      |
| 耐 倒 伏 性 ※             | やや弱   | 弱     | やや弱        | —                               | —     | —     |      |
| 耐 冷 性 ※               | 極強  | やや弱   | 極強         | —                               | —     | —     |      |
| 高温登熟耐性※               | 中   | 弱     | 中          | —                               | —     | —     |      |
| 耐病性                   | いも葉 ※   | +     | <i>Pia</i> | <i>Pii</i>                      | —     | —     |      |
|                       | ち穂 ※  | やや弱   | やや弱        | やや弱                             | —     | —     |      |
|                       | 白葉枯病 ※  | 弱     | 弱          | 中                               | —     | —     |      |
| 玄 米                   | 収量(kg/a)  | 56.8  | 58.5       | 56.2                            | 54.3  | 54.0  | 54.1 |
|                       | 収量対比(%)   | 97    | 100        | 96                              | 100   | 100   | 100  |
| 米                     | 千粒重(g)  | 22.0  | 21.9       | 22.8                            | 21.9  | 21.6  | 22.6 |
| 玄 米 品 質               | 中の上   | 中の中   | 中の上        | 中の上                             | 中の中   | 中の中   |      |
| 食 味                   | 上の中   | 上の中   | 上の中        |                                 |       |       |      |

注) ※印は、育成地及び特性検定地における評価である。

表中のデータは、全調査年数分の平均値である。

左部分が標肥栽培、右部分が多肥栽培における評価である。

標肥栽培(基肥 N5kg/10a, 追肥 減数分裂期にN1kg/10a), 多肥栽培(基肥 N7kg/10a, 追肥 減数分裂期にN1kg/10a)

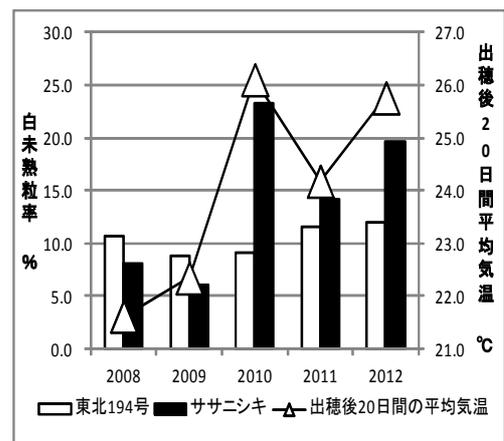
表2 食味官能試験結果

| 調査年次     | 系統・品種名 | 種類  | 味       | 粘り       | 総合       | 試食者<br>基準品種 |
|----------|--------|-----|---------|----------|----------|-------------|
| 2007     | 東北194号 | 炊飯米 | -0.3 ** | -0.2 *   | -0.3 **  | 古試職員        |
| ~2010年平均 | ひとめぼれ  |     | 0.1 n.s | 0.2 *    | 0.1 n.s  | ササニシキ       |
| 2008年    | 東北194号 | 酢飯  | 0.0 n.s | -0.3 n.s | -0.1 n.s | ササニシキ(酢飯)   |

注1) 篩目1.8mmで調整した標肥区の玄米を約90%に搗精し、2007～2009年は電気炊飯器(N社製SR-UH10-W)を、2010年は電気炊飯器(P社製SR-HG103)を使用した。

2) 食味は不良(弱)～良(強)を-3.0～3.0で評価した。

\*, \*\*はt検定の結果、基準品種に対してそれぞれ5%水準, 1%水準で有意差があることを示す。n.sは有意差無し。



注1) S社製穀粒判別器(RGQ110A)で測定した乳白粒、基部未熟粒、腹白未熟粒の合計

注2) 出穂後20日間の平均気温に使用した出穂期は、2品種の平均

注3) 2011～2012年は栽培試験データ

##### 3) 発表論文等 平成24年度東北農業研究成果情報

図1 年次別の白未熟粒発生率